

# 協働事業評価シート(第三者用)

部課名	こども未来部 こども政策課
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

令和7年度
-------

予算事業名	子ども・子育て支援新制度
-------	--------------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	子育て情報誌作成		
協働事業の概要	川越市で子育て中の方やこれから子育てをする方が、安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、子育てに関する情報などを紹介する情報誌を制作している。その中の20ページ分と表紙の絵を子育て中の市民と一緒に当事者の視点で必要な情報を掲載することとし、参加市民の募集や情報の取りまとめ、作成を行う。		
協働事業の決算額	150,000円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	
事業の実施期間	令和7年6月17日 ~ 令和8年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)  
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	3	4	3.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	3	5	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	3	5	4
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	4	4.5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	3	5	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	3	4	3.5

合計点数	28.5 点
------	--------

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

本事業は、川越市で子育てをされている方や、これから子育てをされる方のための子育て情報誌の作成を目的としており、歴史は古く、現在作成中の令和8年度版(令和8年6月1日発行予定)で第24版目の発行となります。

当該情報誌では、教育・保育、保健や医療といった出産や子育てに関する情報を幅広く掲載していますが、最も大事なものは、読者である子育て当事者の方々に手に取って読んでいただき、日々の子育てに活用していただくことだと考えています。

その中で、協働する市民活動団体の皆様においては、子育て中のママ・パパの視点や意見などを幅広く取り入れた、読者にとって親しみやすい情報誌の効果的な作成に寄与していただいているものと認識しています。

日々、変化している子育てを巡る環境の中で、最新の情報を掲載することは当然のこと、当該情報誌の紙媒体での発行のあり方を含め、より良い情報誌となるよう、今後も幅広く検討してまいりたいと考えています。

### 【市民活動団体等】

当団体だけでは、妊婦さんから入学までの子育て家庭に情報誌を届けることは不可能であり、協働事業だからこそ成し得たものです。こども政策課には、広報での告知や関係機関への取材交渉、制作会の会場確保などの協力をしていただき、感謝しております。

毎年報告会で、協働審査委員からいただく意見には「費用の増額」や「団体の自主性の尊重」があります。しかし、同じ評価を繰り返し頂いているため、改善を期待しております。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	1	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	7	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	1	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

### 【事業に関するコメント】

・紙媒体での発行のあり方の検討については、広く声を拾って欲しいと思います。団体の意見も聞くべきです。

・子育て市長がいる川越市の独自性を出すいい素材でもあるため、大切に委託事業として育てていただきたいです。

・実施団体に対し、まずは委託事業への協力と長年の努力に感謝します。しかし、行政側の感想を見ると、冊子の方向性や事業の有効性(活用度)について懸念があるようなコメントが見受けられ、残念に思います。委託事業である以上、行政側がしっかりした方向性やビジョンを示し、進めていく必要があると思います。今後の継続については、行政内で再吟味し方向を出していただければ幸いです。

・費用の増額を求めます。行政とのコミュニケーションを密にお願いします。

【事業に関するコメント】

- ・個別の各評価(2. 3. 6)項目において、所管課の評価が「3」、団体の評価が「5」になっていますが、その違いについて具体的に聞きたいと思います。
- ・子育て情報誌「こえどちゃん」の活用により、いかに市民を巻き込み、共に歩いていくかという中で、今年度のテーマ「つながり」は楽しみな内容です。今年は第24版とのことですので、子育て中の方々に役立つ情報誌であることを期待しております。
- ・長期にわたる事業として、すでに定着している感があります。だからこそ怖いのは、マンネリ化や行政との関係の硬直化、なれ合い化です。こうした問題はあらゆる組織事業において起こりうるものですので、両者の目的と情報共有を密にし、これからの課題に対応していただきたいと思います。
- ・過去の評価と比較すると、行政側の評価が低いため、今回は相対的に低いものとなっておりますが、それは行政側の担当者が変わったためなのか、それとも長年にわたって実施してきたことから、市民団体側がマンネリ化したためなのかを伺いたいです。  
→報告会にて「担当者が変わり評価の尺度が違ったため」と確認。
- ・団体側の意見として審査委員への要望的なことが記載されていますが、その真意は何でしょうか。  
→これは委員への要望ではなく、市に対して改善を期待するもの。
- ・当該情報誌のあり方(紙媒体またはSNS活用)について検討する時期が来ているかもしれません。その意味で評価を「C」としました。
- ・長年にわたり継続的に発行している点は高く評価したいです。しかし、作成スケジュールが短いなどの改善点は長年の課題のようで、十分に改善されていない印象があります。
- ・川越市の出生率が低いため、もう少し魅力のある方法を考えたらどうでしょうか。